

建設業のための法定外労災補償制度 建設共済保険 説明会

掛金・補償内容を見直してみませんか？

この度、「建設共済保険」の特長にポイントを絞った無料の説明会を下記のとおり開催することとなりました。

「建設共済保険」は、現在、全国で2万4千社を超える建設事業者の皆様にご加入いただいております。次の特長にもございますとおり多くのメリットを備えた制度になります。

安い掛金で
大きな補償

契約者割戻金で
掛金負担がさらに軽減

被災者等に対する
補償に加え、企業の
諸費用も補償

被災者の子に対して、
返済不要の奨学金給付

説明会への参加を希望される場合には、お手数ではございますが、下記申込書にご記入のうえ、
(公財)建設業福祉共済団まで FAX かメールにてご送信ください。

参加申込書

公益財団法人 建設業福祉共済団 行

○説明会

- ・開催日時：令和6年2月1日(木) 14:00～15:00
- ・場 所：TKP東京駅カンファレンスセンター2階 カンファレンスルーム2C
- ・開催日時：令和6年2月2日(金) 14:00～15:00
- ・場 所：TKP新宿カンファレンスセンター6階 カンファレンスルーム6B

※説明会終了後、個別相談も承ります。掛金試算をご希望の方は、直近の経営事項審査申請書の「工事種類別完成工事高」または「直前3年の各事業年度における工事施工金額・様式第3号」の写しをご持参ください。

ご希望の日にちに ○をしてください。	2月1日(木)	2月2日(金)
-----------------------	---------	---------

貴社名	電話番号、FAX番号	参加者名

【TKP東京駅】※東京駅八重洲中央口 徒歩1分
〒103-0028 東京都中央区八重洲1-8-16 新槇町ビル2階
【TKP新宿】※新宿駅南口 徒歩5分
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-14-11 Daiwa 西新宿ビル6階

TKP東京駅MAP TKP新宿MAP



E-mail gyomu.b@kyousaidan.or.jp

FAX

03-3591-8474

主催及び建設共済保険についての問い合わせ先

(公財)建設業福祉共済団 事業推進部



0120-913-931

“安心・充実の制度”をお届けします！

契約者割戻金制度が始まっています。

契約者割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償

保険金区分合計
最高 5,000 万円

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を
守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

この機会に
ご検討を！

「建設共済保険」の他にも、
次のような事業を
行っています。

育英奨学事業

被災者（死亡および障害・傷病 3 級以上）の子供に
対して、要保育期間および小学校から大学までの在
学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ①安全衛生用品の頒布
- ②女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③安全衛生推進者表彰 等

正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9：00～午後 5：00(土日祝を除く)

建設共済保険

検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11 階



令和4年度の割戻率は20.53%

建設共済保険では保険事業の決算で生じた剰余金を契約者にお支払いする「契約者割戻金制度」を令和4年度から導入しており、導入初年度の決算(令和5年3月31日)において剰余金が10.48億円発生しました。

剰余金は3年平均にして割り戻されますので、令和4年度における「直近3事業年度の剰余金平均値」(下表「剰余金の取扱い」ご参照)は5.96億円であり、この金額を原資として算出した契約者割戻率は20.53%になりました。

令和5年度、6年度も契約者割戻金をお支払い！

下表に記載の通り、令和5年度は3.49億円の同年度の決算によって剰余金が生じた場合その1/3を加算した額、6年度は3.49億円の(+α)に同年度の決算によって剰余金が生じた場合その1/3を更に加算(+β)した額を原資とした**契約者割戻金をお支払いすることが確定**しており、その年度の決算日(3月31日)に保険契約が有効に成立している契約者は、契約者割戻金によって掛金負担が軽減されます。

この機会にぜひ建設共済保険にご加入ください。

○剰余金の取扱い

決算年度	A 剰余金	発生した事業年度を含め剰余金を3事業年度に分割(A÷3)				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
令和2年度	7.42億円	2.47億円 (R2:1/3回)	2.47億円 (R2:2/3回)	2.47億円 (R2:3/3回)		
令和3年度	0円		0円	0円	0円	
令和4年度	10.48億円			3.49億円 (R4:1/3回)	3.49億円 (R4:2/3回)	3.49億円 (R4:3/3回)
B 直近3事業年度の 剰余金平均値		2.47億円	2.47億円	5.96億円	3.49億円 (+α)	3.49億円 (+α+β)

C 基準保険料総額	27.48億円	28.79億円	29.07億円
割戻率(B÷C)	9.01%	8.60%	20.53%

↑
令和5年度に
剰余金が生じ
た場合、その
1/3が加算さ
れます(+α)

↑
令和6年度に
剰余金が生じ
た場合、その
1/3が加算さ
れます(+β)

[参考]

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
割戻金額の平均	9,900円	9,900円	23,800円

年間完成工事高契約掛金早見表

(年間掛金 単位：円)

完成工事高	業 種	保 険 金 区 分 合 計					無事故割引率
		5,000万円	4,000万円	3,000万円	2,000万円	1,000万円	
1億円	土木一式	167,200	133,760	100,320	66,880	33,440	12%
	建築一式	63,800	51,040	38,280	25,520	12,760	
2億円	土木一式	296,400	237,120	177,840	118,560	59,280	22%
	建築一式	113,100	90,480	67,860	45,240	22,620	
5億円	土木一式	627,000	501,600	376,200	250,800	125,400	34%
	建築一式	239,250	191,400	143,550	95,700	47,850	
10億円	土木一式	1,102,000	881,600	661,200	440,800	220,400	42%
	建築一式	420,500	336,400	252,300	168,200	84,100	
20億円	土木一式	2,128,000	1,702,400	1,276,800	851,200	425,600	44%
	建築一式	812,000	649,600	487,200	324,800	162,400	
35億円	土木一式	3,591,000	2,872,800	2,154,600	1,436,400	718,200	46%
	建築一式	1,370,250	1,096,200	822,150	548,100	274,050	
50億円	土木一式	4,370,000	3,496,000	2,622,000	1,748,000	874,000	54%
	建築一式	1,667,500	1,334,000	1,000,500	667,000	333,500	
65億円	土木一式	5,434,000	4,347,200	3,260,400	2,173,600	1,086,800	56%
	建築一式	2,073,500	1,658,800	1,244,100	829,400	414,700	
80億円	土木一式	6,384,000	5,107,200	3,830,400	2,553,600	1,276,800	58%
	建築一式	2,436,000	1,948,800	1,461,600	974,400	487,200	
100億円	土木一式	6,460,000	5,168,000	3,876,000	2,584,000	1,292,000	66%
	建築一式	2,465,000	1,972,000	1,479,000	986,000	493,000	
250億円	土木一式	15,200,000	12,160,000	9,120,000	6,080,000	3,040,000	68%
	建築一式	5,800,000	4,640,000	3,480,000	2,320,000	1,160,000	
500億円	土木一式	28,500,000	22,800,000	17,100,000	11,400,000	5,700,000	70%
	建築一式	10,875,000	8,700,000	6,525,000	4,350,000	2,175,000	

※表記掛金は無事故割引を差し引いた金額です。さらに分割回数に応じた払込割引率の適用があります。

※実際の掛金計算は、完成工事高からJV及び海外工事高を控除し、土木一式(他3工事)と建築一式(他25工事)に分けた工事高から算出します。